

アイテム

2011
冬
Vol.14

公益財団法人
伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

特集

伊丹と私の

チョコレート事情



大好評の連載陣

【芸は身を助く】 身体の声に耳を傾ける

【まちなか美術手帖】 風をとらえる金属の翼

【伊丹と私は同い歳】 茶道を歩む伊丹の暮らし

【THE 部活】 県立伊丹西高校 演劇部

【クラフト作家の仕事場を訪ねて】
ドイツで磨いた技術と眼差し

【伊丹遺産】
日本最古の商標、頼山陽筆の一枚看板

日本最古の商標、
頼山陽筆の一枚看板



江戸時代、池田と並び、最上級酒の産地として名をあげた伊丹。その酒を好んでさまざまな文人墨客が集いました。江戸後期には漢学者、頼山陽も来訪。白雪の酒を讃える詩を残しています。

頼山陽筆の樹齢800年を超えるケヤキの一枚看板は横幅3m強。大阪万博に伴う道路整備で社屋を移築するまで、本社入口に掲げてありました。その風格漂う門構えは、現社員の子ども心にも深い記憶を刻んだようです。

最古の商標といわれる「白雪」は、二代目宗宅が江戸へ酒を運ぶ道中、万年雪をいただいた富士の気高さに感銘を受け、命名したものです。昭和期には酒造業界で初めてテレビ番組のスポンサーになり、白雪劇場を展開したことが、ブランド名が全国に流通するきっかけに。昨今の食生活の変化とともに好まれる酒の趣向も変わり、現在は淡麗辛口が主流だそうです。



長寿蔵ブルワリーミュージアム：看板は複製品を展示。昔の酒造り道具130種200余点を展示。レストランの2Fにある。

長寿蔵ブルワリーミュージアム：10:00～17:00。入場無料。毎月第二火曜日が休み。お問合せ：072-773-0524



【取材と文：内山真理子】伊丹アイフォニックホール所属 世界の音楽を紹介する「地球音楽シリーズ」コンサートを担当。ローカル〜グローバルな「伝統芸能」と日々奮闘中。「疲労回復には、やっぱりチョコレートですね」

伊丹がふるさと寄附

ご寄附を通じて、ふるさと伊丹を応援してください

伊丹市では「夢と魅力のあるまち伊丹」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。寄附金の活用は「芸術・文化」「スポーツ」など10テーマからご指定いただけます。

【お問合せ】伊丹市総合政策部政策室 TEL.072-784-8007 <http://www.city.itami.lg.jp/furusatoitami.html>

伊丹と私の チョコレート事情

Itami and my chocolate circumstances

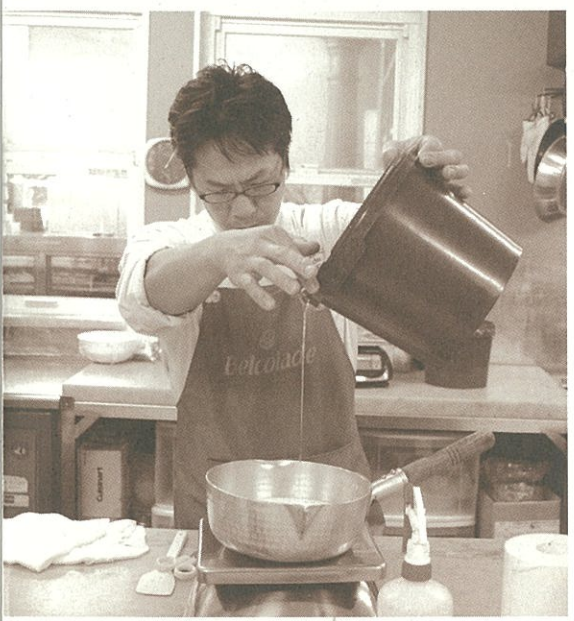
伊丹のチョコレートが一堂に集まる「ちょこリンピック」や一日限定のバレンタインカフェなど、市内では甘党のココロをくすぐるイベントが続いている。辛党のあなたも一緒に、探しに出かけよう。

取材・文：中脇健児

世界二位の技に酔っ

砂糖や小麦粉、バターなどが積み上げられた中、総勢15名のパティシエたちが黙々と作業する。北摂に15店舗展開するヒロコーヒーのスイーツを一手に担う伊丹いながわ店ケーキ工房の朝の1コマだ。ここを束ねるチーフで、商品のほとんどを考案してきた藤田浩司さんが、製菓の国際コンクールWPTC 2008のチョコレート細工部門で、世界一位に輝いたのは伊丹では有名な話。手がけ始めたのはたった5年前、しかも教えを乞う事や特別な練習はしなかったという。「日ごろの積み重ねの応用ですよ」と藤田さんはこともなげに語る。店頭のケーキでは意外に素材感を重視したシンプルな組み合わせが多い。「必然性がないものを盛りつけても美味しくない。まずは味、その延長に見て楽しめればいいんじゃないかな」と語る。

●ヒロコーヒー伊丹いながわ店 北伊丹5-15-1
☎072-775-1030 8:00~23:00 (LO 22:30)



今、オススメは「オリジンザッハ」(350円)。チョコ感ある見た目とウラハラに、アプリコットの味わいが印象的。



取材中見つけた チョコギャグがある？

伊丹出身のお笑い若手芸人、ガリガリガリクソンさんのギャグに某チョコCMソングをもじった「チョココレート、チョココレート、チョココレートはゴディバ〜!!」があった。

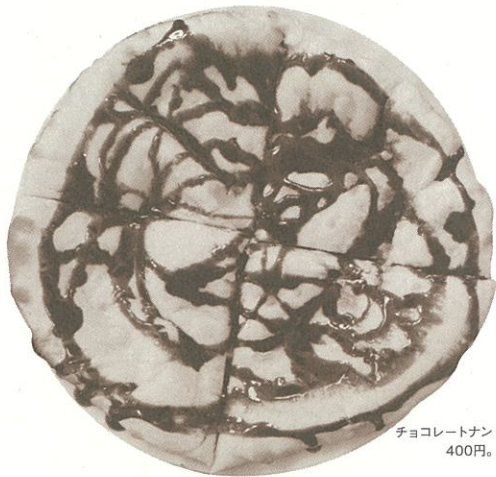


ビールに溶けたカカオの風味

モンドセレクションにならぶ世界のグルメ品評会「ITQI」で見事1つ星を受賞した伊丹の地ビール「シヨコラプレミアム」。最高級のチョコレートビールを目指し、チョコレート、酵母、醸造設備までベルギー産にこだわった。すっきりとした甘さの中に深いビターな味わいは、お酒好きの女性がデザート感覚で楽しむ逸品だ。



シヨコラプレミアムは冬季限定販売
売価1本(税別)1000円



チョコレートナン
400円。

エスニックも一緒に

各国でも展開する敏腕インド人オーナーが経営するインド料理屋では、チョコレートやハチミツ、フルーツをかけるナンがある。創作メニューかと思いきや「インドでは普通ヨ。子供向けでネ」とスタツフが教えてくれた。おやつに食べたりするんだとか。ポリウム満点のスイーツナンを友人とわけながらチャイを飲む。なんて風景がそろそろ伊丹で見られるかもしれない。

●インディアン パレス 西台4-6-32
☎072-777-4478 11:00~23:00(無休)

取材中見つけた 期待の ルーキーチョコ

酒にまつわる多彩な展開がウリの小西酒造は、ホワイトチョコをアレンジした「日本酒チョコレート」を発売していた。「まだまだ美味くなるはず」と現在進行系で改良を待つ期待のアイテム。



●長寿蔵ショップ(小西酒造) 中央3-4-15
☎072-773-0524 10:00~19:00(毎月第2火曜日)

こだわれば スペインに行き着いた

ハードパンの素材重視の味わいで西台マダムの心を鷲づかみにしているグリムが冬季限定でクリームパンをチョコレートにアレンジしている。「シンプルにだけにカカオ感を大切に」とスペイン産を使用。しっかりした味わいにココが存分に出せるのだとか。チョコをパンによって使い分けるこだわり派だからこそ生まれた贅沢パン。



人気の商品のため、お早めに。1個157円。

●ブルーランジェリーグリム 西台3-7-27
☎072-779-8173 8:00~19:30(毎週月曜日)

コーティング自慢の直売所

アンテナ高い伊丹の甘党ファンが注目しているスポットがコチラ。コーティング加工を専門とする「マシューのチョコレート」工場だ。地元の方に喜んでらおうと工場直売を実験的に始めたのが1年前。徐々に口コミで広がり、週1日だけの販売が今では週2、3日に。工場2階の事務所一角に所せましと常時120種類が並ぶ。市場価格の半額程度の商品もある。直売ならではの「ワケあり」商品や、製造チョコがランダムに詰められた「闇チョコ」、「コーティング加工で出る」くずチョコ(100円!)なんてのも。「毎日1t、500kgで取引しているから500gなんて想像つかなかった」と代表の杉本裕次郎さんは笑う。

取材中見つけたチョコレートフィルムなるものが

イオンモール伊丹テラスの雑貨店「アンジェ」でチョコレートのカメラフィルムがある...と聞きつけたが、一時期のみで現在は取り扱っていない。食べられるフィルム...ではなく現像される色調がセピアならぬチョコとの事。



甘い仕掛け人は公務員

現担当の村上雅恵さん(写真左)と初代担当の今高みのりさん(写真右)のツーショット。「この時期、机や引出にチョコが絶えないよね」と苦労話で盛り上がる。



伊丹でなぜチョコレートか。実は5年前に「全国に誇れる伊丹ブランドを」と部署を越えた若手職員によるチームが発足された。各地へ足を運び、日夜ディスプレイショー中から出会ったのがベルギーチョコ。「姉妹都市・ハッセルト市がベルギーで...というのとつかかりにすぎない。自分たちがワクワクする、という等身大の感覚を大切にしたい」と発起人の今高みのりさんは振り返る。継続して活動する中で、市内のお店のネットワークは育まれ、情報交換や試食会に参加し合うなど、着実に成果は表れている。



闇チョコ(500g500円)、フリーズドライチョコ(500g1,000円)など



◎マシューのチョコレート 口酒井1-3-3

☎072-777-1737 ☎9:00-17:00(土日祝が休)
※直売は10月~5月までの毎週木金曜とバレンタインデーまでの土曜日

仕掛け人が取り組む話題のチョコイベント

ちよこ博、ケーキ店巡りなど、様々なイベントに取り組む中、毎年開催する人気企画があった。

問合せ：伊丹市役所都市企画室内、伊丹ちよこリンピック実行委員会(072-784-8068)

チョコ自慢の10店舗が一堂に会す 伊丹ちよこリンピック



伊丹ちよこリンピック2011 11/18(火) 13:00~15:00。伊丹シティホテル。参加申し込みはすでに終了。毎年12月上旬に募集。参加費ペア3,000円。定員150組300名。対象16歳以上。

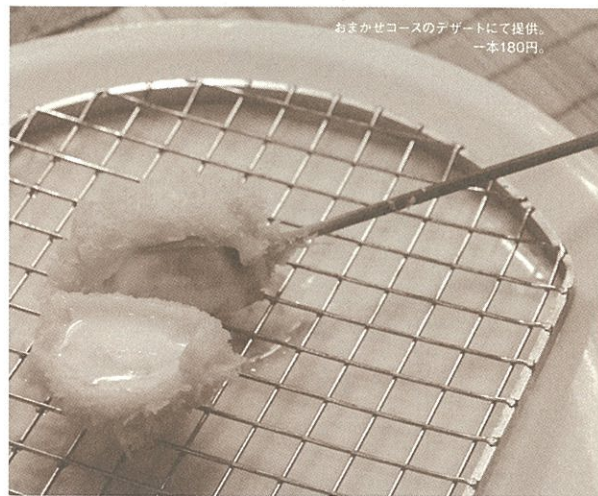
市内の洋菓子店などが集うチョコレートスイーツバイキング。冬の繁忙期に問わず品数も各店舗、最低5種類、300個用意するのだから、そのテンションの高さは計り知れない。チョコレートはすべてベルギー産。昨年度の当選倍率8.5倍も納得だ。一人7、8個は軽く食べられる本イベント。お口なおしに用意されるみそ汁が意外に好評！と、ちよこっと笑えるこぼれ話も事欠かない。

揚げたてのとろける味

「カウンターのお客様にしか出せません」。季節の創作串カツが自慢の吉野に裏メニュー。アイス、がある。サクサクの衣と溶ける直前を味わう「鮮度が命」のため、テーブルには運べないのだ。3年前から始めたが、コーティングされているチョコの隠し味まで気付く人は中々いない。「熱いように思うけど、大丈夫やから一口で」と言われ頬張れば、アツアツの衣にジュワッと冷たい甘さが広がる。

◎串かつ 吉野 中央1-5-5

☎072-772-0913 ☎11:30~22:30(金土曜は25:00まで)
毎月曜休と第1・3火曜休



おまかせコースのデザートにて提供。一本180円。

バレンタイン直前。自慢のトリュフが一箱に。一日だけのバレンタインカフェ



ちよこリンピックに参加できずとも涙を流す事なかれ。参加店の一部が店自慢のトリュフを1粒ずつ提供したセットがバレンタインデー前日伊丹郷町館での出張カフェで食べられる。ミニギフトになって販売されるのも嬉しい。バレンタインギフトも揃う。

「一日だけのバレンタインカフェ」
2/13(日) 12:00~16:00。
伊丹郷町館「旧石橋家住宅」。
入場無料(飲食、物販は実費)。

取材や配布などアイテム作成に興味のあるボランティアな人、一緒にやりませんか。まずは編集部(担当:中蔵)までご連絡下さい。072-778-8788(いたみホール内)

伊丹市文化振興財団・加藤四季。歌って踊れる「財団四季」がまちへ飛び出し、あらゆる教室やスクールに挑戦するトツゲキ系連載。

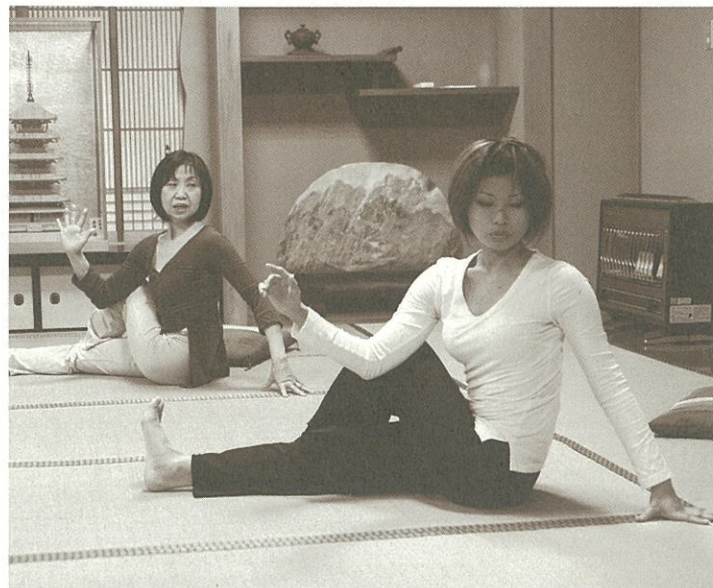
財団四季の

芸は身を助く



「お寺でヨガ」

講師：水谷友視呼先生
基本的に第4日曜日開催
(本楽寺の予定による)。
体験希望等はブックランド
ドフレンズ河田まで
(072-777-1200)



身体の声に耳を傾ける

急 激な寒さに猫背がちな日々。頭痛に発展しそうなコリを解すべく、本楽寺の「寺ヨガ」に行ってきました。気候やお寺の予定が大丈夫なら、本堂で行うありがたさが漂うヨガですが、この日はストーブの入った離れで開催。畳にヨガマットならぬ座布団をセットすれば、ごちゃまぜアジアな感覚に心地よく包まれます。

萎縮している筋肉をほどくのに、焦りは禁物。効果が得られないどころか、怪我に繋がる危険があります。難易度が上がるにつれ、先生の姿をコピーするだけのうつ伏せの背中には、変なこぶのような肉塊が目立つように。先生が触って誘導して下さってやっと気付いたのですが、左右同じ力

でストレッチが出来ておらず、骨盤から歪んでいたのを力技で引っ張っていたのです。治してもらうとその姿勢での呼吸が途端に深くなり、身体の変な強張りが解け、精神の奥に潜るような静かな時間が訪れました。…が、つつい「今私の体勢は正しいのか？」が気になり、ここでも身体の力を抜くという私の永遠の課題にぶち当たりました。

「身体に～してあげる」というフレーズがあう優しさ。肉体と対話しながら、緩んでいくのを待ってあげる、意識が身体を信用しないと出来ない…不思議な感覚でした。最近イライラしがちな私に訪れた心と体の解放タイム。贅沢でした。



尾てい骨が床に直接当たる痛みを座布団で緩和。皆で輪になって挑戦中。



写真で反省。社絶なる骨盤の歪み…こ、これは酷いね。



智恵の輪のようになってますが、後ろで手を繋いでるのがわかりますか？ 届きました！

【取材と文：加藤四季】いたみホール所属 声楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「好きな食べ物=ビターチョコと梅クラゲと炭水化物…長年変わらないけど、やっぱ変!？」

学芸員が美術館から飛び出し、伊丹のまちなかにたたずむアート作品を紹介。普段何げなく見ていたものが実はすごい作品だったんです。

まちなか美術手帖

【スワンホール×西野康造】

関西屈指の渡り鳥の飛来地で、カモや白鳥が泳ぐ昆陽池公園の南側にあるスワンホールは、会議や結婚式などに活用される多目的ホールとバスケットコート一面分の広さがある体育館を設備する労働福祉会館・青少年センターだ。

西野康造の彫刻「風に乗った翼」は入口へとつづく大階段の手前にあり、来館者の頭上でゆつたりと風に舞う。水平に広げれば2メートルあるチタン合金の羽根がポール先端に付いているだけのシンプルなものだが、静かに流れるような動きは鳥の飛翔そのものであり、電力ではなく風力のみで動いているというから驚きだ。

2001年の開館ミニメントとして、いくつかの候補のなかから選ばれた。スワンホールは省エネルギーシステムを取り入れた環境に優しい施設を特徴にしており、本作のコンセプトと合っている。未来に馳せる夢をのせて自由

風をとらえる金属の翼

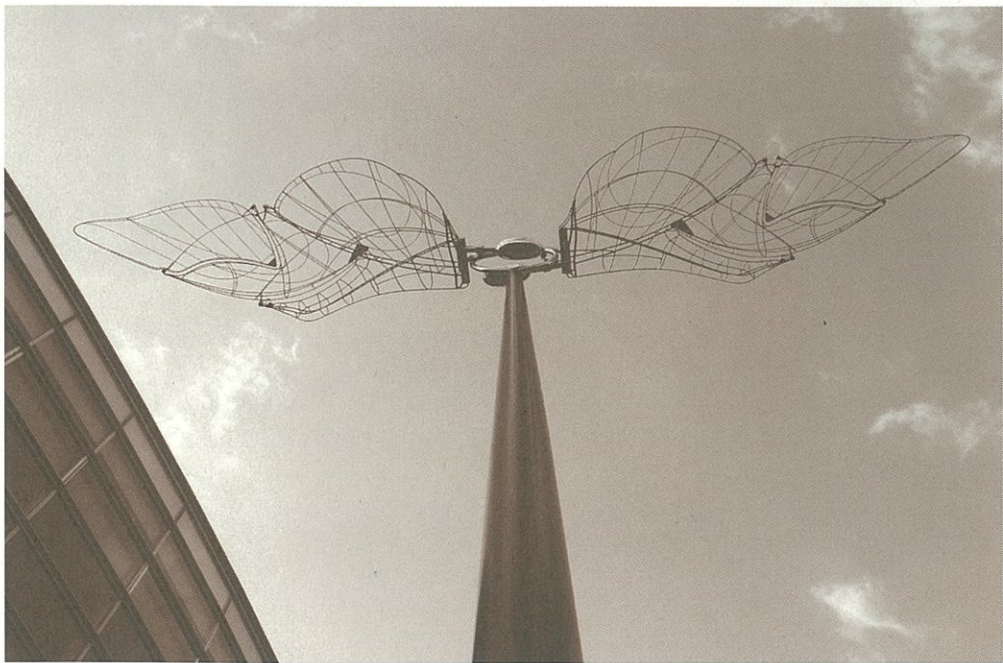


西野康造

(1951～、兵庫県生まれ)

世界の古代遺跡を放浪後、80年代から金属を素材に「空」や「風」などの自然をテーマに制作。日本各地の美術館、公園などに作品が設置されている。中原二郎賞優秀賞をはじめ数々の賞を受賞、世界的に評価され活躍する。

に大空へ羽ばたく翼を表現する」と託され、たとえ台風などの強風でも優雅に羽ばたいているようだ。太陽の光で金銀にきらきらと輝きながら、感知できないほどの小さな気流もとらえて変容する。色や形などにインパクトがあるのではなく、翼の動きだけで目には見えない風を感じさせ、静閑な緊張感のなかで空や風に溶け込んでいく。繊細とても美しい作品だ。



【取材と文：岡本梓】伊丹市立美術館所属 「風刺とユーモア」をコンセプトとする美術館にふさわしく、伊丹をナメから見る「理論よりも感性」な現場肌の学芸員。専門は近現代美術。「やっぱり不二家のハートチョコよね。ピーナッツの力加感最高!」



取材に伺ったのは年末で、時々(じ)に勤めて私拭ふっしきせよの掛軸が床に掛けられていた。



お弟子さんとの稽古が続く自宅の庭では、昔迷い込んだカエルが今でも夏になると元気に鳴くという。

「正教授」。「茶事」を通じて、料理や書の技術、故事を紐解く知識など幅広い教養を培ってきた。緑丘公園での「観梅と野点の会」などを催す伊丹市茶道協会の副会長も勤め、阪神淡路大震災の後初めて開いた茶会では、「達磨香合」を使い、「横になってもすぐ起き上がる達磨」に復興の願いをこめた。高校茶道部の指導や出稽古などの行き帰り、伊丹の街並みにこよみを読みながら、「お茶三昧」の日々を送る。

昭和39年、結婚を期に伊丹へ。当時自宅の周りは田んぼばかりで、カエルやヘビが庭によく紛れ込んでいた。その後二人の子どもを育てながら今日までとぎれることなく茶道の道を「筋」に。茶名は「茶若」。茶道裏千家の



伊丹・神戸の25人ほどのお弟子さんと稽古に励む。

茶道を歩む伊丹の暮らし

今回はコンテンツポラリージュジュエリーアーティストの中村智志さん。伊丹ジュエリーカレッジを卒業後、ドイツに留学し昨年帰国されました。

子どもの頃、ビー玉をいつまでも眺めていたという中村さん。「小さいけれど、中に宇宙がある!」と思いい、立体的なものづくりに興味を持ちます。社会人になってからも、心の片隅に作りたいたい気持ちが残りに、ヤマヤとしていた時、広報伊丹でジュエリーカレッジを知ります。1年間みっちり技術を学んだ後、更にもっと深く勉強するためにドイツへ。英語もドイツ語も全くできない状態だったけれど、不安より、やりたい、気持ちの勢いが強かった」と言います。

現在制作中の作品は、水面石飛ばし遊びのできる波紋をモチーフにしたアクリル製のピアス。また立体作成に適したコンピューターソフトCADを使い、街並みの鳥瞰写真からいくつかの建物を切り出して

クラフト作家の仕事場を訪ねて

ジュエリーアーティストの中村智志さん



鳥瞰図をモチーフにしたブローチ。

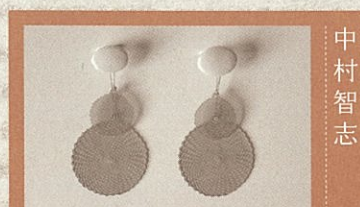


時計版を作る為の産業革命時代の機械。細かな表面加工ができる。



ベルリンの街並み。FRITZというギャラリーに作品がある。

【工芸センターより】プロのジュエリー作家を育成する伊丹ジュエリーカレッジ12期生を募集中。受講料640,000円(年間150日~)。11期生の卒業作品展は3月5日(土)~27日(日)まで。カレッジの見学・体験受付中。短期の彫金講座もあり。お問合せ:工芸センター(072-772-5557)。

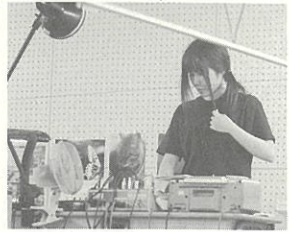


1970年伊丹生まれの伊丹育ち。伊丹ジュエリーカレッジ4期生。ドイツのフォルツハイム大学造形学部卒業。2007伊丹国際クラフト展「ジュエリー」入選。1/26~2/20より京都のGAJにてグループ展参加。

仕上げるブローチにも取り組んでいます。身につけても眺めても面白く遊び心がいっぱい。「頭に浮かんだアイデアを、人が身につけて美しく見える形にするのが難しい」と中村さん。

ドイツには、シムムック(飾るもの)という文化が根付いていて、通りすがりの人に「そのブローチ素敵!」と突然声を掛けられることが珍しくないほど、ジュエリーは身近なもの。貴金属やプラスチックなど素材の垣根もない。「日本でも多くの人がもっと気軽にジュエリーを身につけて、華やかな気持ちになれるよう、作り続けていきたい」と語ってくれました。

中村智志



2年ぶりの近畿大会出場を果たした県内屈指の演劇強豪校、伊丹西高校。総勢24名が稽古をする部室は、照明・音響ブースが揃い、簡単な公演ならこなせてしまふ。

演劇部は役者に注目されがちだが、裏方の支えがあつてこそ。発声や筋トレといった基礎練習は全員で行うが、芝居の稽古になると各持ち場に徹する。

裏方も演技する

THE部活

vol.04

取材と文◎権田康行



強豪、オモシロ、珍部活。青春の玉手箱、知られざる放課後ライフをご紹介します。

「実は上演中、音響も音を入れるタイミングや音量の調整で演技しているんです。終わった時の達成感はい言えない」と担当の神田菜摘さんはやりがいを語る。「音響から始めて音響で終わる」と言われるだけに日々の緻密な打ち合わせと稽古が必要とされる。決してスポットライトを浴びることはないが、裏方がいるから成り立つ部活もあるのだ。

9 求む!部活!

「取材に来て!」という方、ぜひ編集部(中監)まで一報を。市内の小・中・高校に限りです。(tel)072-778-8788/mail)itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp

【取材と文・澤野宏実】工芸センター所属 伊丹国際クラフト展などを通して全国各地の工芸作家とつながる。手織や陶芸などの講座を主に担当。「寒い季節、優しい音楽を聴きながら、ホットチョコレートで体も心も温まりたいな~」

3・13(日) 朗読劇の素晴らしさを体感!

日本語の美しさを大切に、肉声の響きの素晴らしさと朗読の世界をより豊かに活動する、日本初の朗読劇団「あめんぼ座」。美しい詩情とエネルギーに溢れた、中国少数民族に伝わる長編叙事詩「阿詩瑪」ほか小品を朗読劇でお届けします。



あめんぼ座朗読劇「阿詩瑪」(構成・木下順二)ほか
3/13(日) 14:00。一般1200円、高校生以下・60歳以上1000円(当日各200円増)。072-781-8877

3・13(日) 改めて問う「日本の歌」の美しさ

「もののけ姫」で一世を風靡した米良美一。テレビ等からも感じられる親しみやすい人柄と個性豊かな語り口は、世代を越えて人気を集めています。早春のいたみホール、類まれな美声と音楽性で「日本の歌」の美しさを、今、改めてお伝えします。



「米良美一〜愛のうたコンサート〜」
3/13(日) 15:00。3,500円(当日500円増)。072-778-8788

3・27(日) イタリアオペラの最高傑作

25回目を迎える伊丹市民オペラの演目は「アイダ」。古代エジプトを舞台にエチオピア女王アイダとエジプトの将軍ラダメスとの悲恋を描いた作品です。勇壮な旋律と甘いメロディの Aria がおりこまれた本公演をどうぞ堪能下さい。



第25回伊丹市民オペラ定期公演 歌劇「アイダ」
3/28(日) 14:00。一般A席4,000円、B席3,000円(当日各500円増)。072-780-2110(伊丹アイフォニックホール)

3・20(日) 郷愁の調べ ラオスの歌と踊り

東南アジアの国ラオスから、伝統芸能団が初来日。同国を代表する民俗楽器ケー(ラオス笙)の調べにのせて歌い踊られる民謡ラムの数々を、多彩な民俗楽器の合奏や男女掛け合いの恋歌など、郷愁の調べをお楽しみください。



「アイフォニック地球音楽シリーズ155 メコンの風にうたう」
3/20(日) 14:00。一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。072-780-2110

※イベントにより、未就学児童の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各ホールへお問合せ下さい。※いたみホール、アイホール、ラスタホールは火曜日休館。伊丹アイフォニックホールは水曜日休館。美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衝文庫は月曜日休館。(祝日にあたる時は翌日)

アイテム

2011年1月1日発行(季刊冬号・通巻67号)
発行:公益財団法人 伊丹市文化振興財団
編集:アイテム編集委員会
表紙イラスト:ニシキタダシ
デザイン:三澤敏博(絡繰堂)
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3
伊丹市立文化会館「いたみホール」内
Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585
http://hccweb1.bai.ne.jp/tamihall/zaidan
Email->itami-kikaku@bccb.bai.ne.jp



<配布場所>市内・近隣の文化施設でお取りいただける他、こんなところで配布協力いただいています。アリオ1&2、伊丹酒蔵通り、ひがし商店街、タミータウン、宮ノ前商店街、ピバ伊丹、三軒寺前広場周辺のお店、伊丹シティホテル…ほか市内各所

ラスタホール 併設有料駐車場 約30台
市立宮ノ前地下有料駐車場ゾーンのご案内
伊丹アイフォニックホール B・Cゾーン
いたみホール A・Fゾーン
みやのまえ文化の郷 Cゾーン

チケットプレゼント

「日本近代洋画への道 高橋由一から黒田清輝、青木繁まで―山岡コレクションを中心に」1/15(土)~2/27(日)<美術館> 5組10名。1月31日必着。

プレゼントをご希望の方は、はがきまたはEメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団住所宛「アイテムチケットプレゼント係」まで。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

1・9(日)~1・10(月・祝) これが、こいのいたみ…!?

アイホールと演出家・杉原邦生による共同製作第3弾。今回は演劇・イベントユニット、M☆3で新作を上演です。M☆3が放つ、2011年最初のラヴストーリー! はちめちゃ楽しい舞台にご期待ください!



Take a chance project025 杉原邦生演出/M☆3「こいのいたみ〜come on! ITAMI〜」1/9(日) 14:00/19:00、1/10(月・祝) 15:00。一般2,500円、学生&ユース2,000円(当日各300円増)。072-782-2000

1・15(土)~2・27(日) 呉春のもうひとつの魅力

四糸派の祖として知られる呉春(ごしゅん)は、月溪(げっけい)とも号し、蕪村に学んだ画家でした。蕪村との交流もまじえながら月溪の絵画と俳諧両面にわたる作品を紹介します。



「月溪〜呉春のもうひとつの貌(かお)」
1/15(土)~2/27(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般200円、大高生100円、中小生50円。072-782-0244

2・6(日) 癒しの歌声「また君に恋してる」

ブリーバンバンが「また君に恋してる」「白いブランコ」「いちご」のCMをはじめとする名曲とともにいたみホール初登場。ソフトなアコースティックサウンドでお届けする癒しワールドをお楽しみください。



「ブリーバンバンコンサート」
2/6(日) 16:00。一般4,200円(当日500円増)。072-778-8788

2・19(土) これぞ究極のジブシー芸術!

豊かな即興性、喜びと哀しみの対峙…東欧諸国のジブシー芸術は、その強烈な個性で世界に広く知られています。東欧のジブシー舞踊団の中から特別に編成されたチームによる究極のジブシー芸術を、艶やかな衣装と共に楽しみください!



「アイフォニック地球音楽シリーズ154 躍る!歌う!ジブシーバラダイス」2/19(土) 14:00。一般3,500円、学生2,500円(当日各500円増)。072-780-2110

1・8(土)~1・30(日) 目に見えない豊かな心を

福井達朗と知能に重い障がいをもつ4人の子どもたちとはじまった止揚学園。障がいを個性と捉え、目に見えない豊かな心や本質的なものを見つめることを大切に生活しています。その中で生まれた貼り絵やタイル画、染め物など約60点を展示。



「止揚学園のなかまたちの展覧会」
1/8(土)~1/30(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。無料。072-772-5557

1・15(土)~2・27(日) 幻のコレクションを一挙公開!

研究者のみが知り、幻とされていた山岡孫吉(ヤンマーディーゼル創業者)のコレクションは日本近代洋画史の貴重な宝庫。高橋由一をはじめ黒田清輝、藤島武二、青木繁などそうそうたる画家が名をつらねています。約70作家、180余点の迫真的なリアリズム作品を紹介し、日本近代洋画の魅力に迫ります。



「日本近代洋画への道 高橋由一から黒田清輝、青木繁まで―山岡コレクションを中心に」1/15(土)~2/27(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般700円、大高生350円、中小生100円。072-772-7447

1・29(土) あの名画をスクリーンで

戦争と運命に翻弄された二人の美しくも悲しい恋物語。ヴィヴィアン・リーの「風とともに去りぬ」とは違う、か弱い女性「マイラ」の演技は必見です。今なお多くの観客を魅了する恋愛映画の金字塔。ヴィヴィアン・リー、ロバート・テイラー主演。



「ラスタ映画倶楽部 哀愁」
1/29(土) 10:00・14:00・18:00。一般800円、高校生以下・60歳以上600円(当日各200円増)。072-781-8877

2・12(土)~2・14(日) パワーアップして再登場!

現代美術作家・高嶺格と、タイ・日本のパフォーマーが作り上げた独創的な舞台がパワーアップして早くも再登場! 2009年初演、2010年秋にはタイで再演、好評を博しました。社会的な問題を内包しつつもユーモア溢れる舞台は必見です。



高嶺格演出作品「Melody♥Cup」2/12(土) 19:30、2/13(日) 14:00・18:00、2/14(月) 14:00。一般2,500円、学生&ユース2,000円(当日各500円増)、ペア4,500円(前売のみ)。072-782-2000